

# 指導と評価の年間計画(芸術科 音楽Ⅰ) <例>

岐阜県立〇〇〇〇高等学校

|     |         |       |   |          |      |      |  |
|-----|---------|-------|---|----------|------|------|--|
| 科目  | 芸術科 音楽Ⅰ | 学年    | 1 | 指導クラス    | 〇年〇組 | 指導者名 |  |
| 単位数 | 2       | 使用教科書 |   | 副教材・問題集等 |      |      |  |

## 1. 科目の目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

## 2. 評価の観点の趣旨

| 知識・技能 a (※1)  | 思考・判断・表現 b   | 主体的に学習に取り組む態度 c                                  |
|---|--|--|
| ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。<br>・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。 | ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて考え表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 | ・音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 |

※1 「知識・技能」は、「知識」と「技能」とに整理し、二つにわけて示している。

## 3. 指導及び評価計画

※aにおける○は知・技の両方を示す。

| 月 | 領域・分野        | 題材名・教材  | 予定時間             | 主な学習活動(指導内容)と到達目標   | 評価の場面・方法                                | 評価の観点 |   |   |
|---|--------------|---|------------------|---|---|-------|---|---|
|   |              |   |                  |   |   | a     | b | c |
| 4 | A表現<br>(1)歌唱 | 「豊かな響きで歌おう」<br>校歌/Ave Maria<br>「ヴォイス・トレーニング」<br>小さな空<br>O sole mio<br>東京ブギウギ<br>「歌謡曲からJ-POPへの100年」<br>「ルールを守って音楽を楽しもう!!」      | 7                | a. ㊦歌唱したり聴き合ったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞を理解する。<br>a. ㊦曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付ける。<br>b. 自分のイメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら歌唱表現を工夫する。<br>c. 正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的・協働的に取り組む。                              | 行動観察・発言<br>ワークシート<br>追求途中の表現<br>歌唱表現の聴取 | ○     | ○ | ○ |
|   |              | 〇<br>〇<br>〇<br>㊦  | 〇<br>〇<br>〇<br>〇 | 〇<br>〇<br>〇<br>〇  |   |       |   |   |
| 5 | A表現<br>(1)器楽 | 「ボディー・パーカッションや“CUPS”に挑戦しよう」<br>Plymouth Rock<br>Clap, Tap with CUPS!<br>ソルフエージュ17～21  | 6                | a. ㊦音の重ね方を試しながら、音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響きなどの特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。<br>㊦反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる。<br>b. 共通するイメージをもち、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら器楽表現を工夫する。<br>c. 曲想と音色や奏法との関わり、他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に取り組む。                 | 行動観察・発言<br>ワークシート<br>追求途中の表現<br>器楽表現の聴取 | ○     | ○ | ○ |
|   |              | 〇<br>〇<br>〇<br>㊦  | 〇<br>〇<br>〇<br>〇 | 〇<br>〇<br>〇<br>〇  |   |       |   |   |
| 6 | A表現<br>(3)創作 | 「和音の響きをと生かして旋律をつくろう」<br>『コード進行』をもとにメロディーをつくろう<br>「コード・ネーム」  | 5                | a. ㊦コードの構成音とともに、音の組み合わせ方やつなげ方を試し、音階や音型の特徴について表したイメージと関わらせて理解する。<br>㊦反復、変化などの手法を用いて旋律をつくったり、重ねたりする技能を身に付ける。<br>b. 自己のイメージを膨らませ、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら創作表現を工夫する。<br>c. 音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心を持ち、主体的・協働的に取り組む。 | 行動観察・発言<br>ワークシート<br>追求途中の表現<br>創作した音楽  | ○     | ○ | ○ |
|   |              | 〇<br>〇<br>〇<br>㊦  | 〇<br>〇<br>〇<br>〇 | 〇<br>〇<br>〇<br>〇  |   |       |   |   |
| 7 | B鑑賞          | 「音楽を形づくっている要素に注目して曲のよさや美しさを探ろう」<br>交響曲第9番《合唱付き》から第4楽章<br>バレエ音楽《火の鳥》組曲<br>「西洋音楽の流れ」<br>「オーケストラを知ろう」                            | 5                | a. ㊦曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解する。<br>b. 音楽を鑑賞し、意見交流を通して、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。<br>c. 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に取り組む。  | 行動観察・発言<br>ワークシート<br>批評文                | ㊦     | ○ | ○ |
|   |              | ㊦<br>㊦<br>㊦   | 〇<br>〇<br>〇      | 〇<br>〇<br>〇   |   |       |   |   |
| 8 | A表現<br>(1)歌唱 | 「日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して独唱しよう」<br>むこうむこう/この道<br>「日本語と旋律」 「詩の心を大切に歌おう」 「日本語の歌 詞の歌い方」<br>Caro mio ben Heidenröslein(シューベルト/ヴェルナー) | 4                | a. ㊦歌唱したり聴き合ったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりを理解する。<br>㊦曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技能を身に付ける。<br>b. 自分のイメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら歌唱表現を工夫する。<br>c. 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に取り組む。              | 行動観察・発言<br>ワークシート<br>追求途中の表現<br>歌唱表現の聴取 | ○     | ○ | ○ |
|   |              | 〇<br>〇<br>〇<br>㊦  | 〇<br>〇<br>〇<br>〇 | 〇<br>〇<br>〇<br>〇  |   |       |   |   |
| 9 | A表現<br>(2)器楽 | 「表現を工夫してギターを演奏しよう」<br>日曜日よりの使者<br>第三の男のテーマ  | 8                | a. ㊦演奏したり聴き合ったりしながら、曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解する。<br>㊦表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けたりする。<br>b. 共通のイメージをもち、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら器楽表現を工夫する。<br>c. 曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に取り組む。   | 行動観察・発言<br>ワークシート<br>追求途中の表現<br>器楽表現の聴取 | ○     | ○ | ○ |
|   |              | 〇<br>〇<br>〇<br>㊦  | 〇<br>〇<br>〇<br>〇 | 〇<br>〇<br>〇<br>〇  |   |       |   |   |

|    |                               |   |    |  |  |                                 |                  |             |
|----|-------------------------------|---|----|--|--|---------------------------------|------------------|-------------|
| 10 | A表現<br>(1)歌唱                  | 「表現を工夫して合唱や<br>ヴォイス・アンサンブルを<br>しよう」<br>「指揮にチャレンジ」<br>荒野の果てに<br>言わない<br>ぼくは ぼく | 5  | a.㊦歌唱したり聴き合ったりしながら、様々な表現形態による<br>歌唱表現の特徴を理解する。<br>㊧自分と同じ声部や他者の声部の重なりを聴きながら、他者<br>との調和を意識して、表現に必要な技能を身に付ける。<br>b.共通のイメージをもって、音楽を形づくっている要素の働か<br>せ方などを試行錯誤しながら表現を工夫する。<br>c.曲想と音楽の構造や歌詞、様々な表現形態による表現の特徴に<br>関心をもち、主体的・協働的に取り組む。  | 行動観察・発言<br>ワークシート<br>追求途中の表現<br>歌唱表現の聴取        | ○<br>○<br>○<br>○<br>㊦           | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ |
|    | A表現<br>(3)創作                  | 「声によるアンサンブルを<br>つくろう」<br>オノマトペでリズム・アン<br>サンブルをつくろう                            | 4  | a.㊦オノマトペのつなげ方や重ね方を試しながら、響き、音型な<br>どの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関<br>わらせて理解する。<br>㊧反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を<br>身に付ける。<br>b.自分のイメージを膨らませたり他者のイメージに共感したりし<br>て、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しな<br>がら表現を工夫する。<br>c.オノマトペのつなげ方や重ね方による音楽の特徴の変化に関<br>心をもち、主体的・協働的に取り組む。  | 行動観察・発言<br>ワークシート<br>創作途中の表現<br>創作した音楽         | ○<br>○<br>○<br>○<br>㊦           | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ |
| 11 | A表現<br>(2)器楽                  | 「和楽器に親しみ、演奏に<br>挑戦しよう」<br>篠笛  | 4  | a.㊦演奏したり鑑賞したりしながら、曲想と和楽器の音色や奏法<br>との関わりや、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり<br>について理解する。<br>㊧曲にふさわしい奏法、身体の使い方などに留意して演奏し<br>表現に必要な技能を身に付ける。<br>b.㊦自分のイメージをもって、音楽を形づくっている要素の働<br>かせ方などを試行錯誤しながら器楽表現を工夫する。<br>b.㊦自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音<br>楽のよさや美しさを味わって聴く。<br>c.曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、和楽器を使った様々<br>な表現に関心をもち、主体的・協働的に取り組む。                                     | 行動観察・発言<br>ワークシート<br>追求途中の表現<br>歌唱表現の聴取<br>批評文 | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>㊦<br>㊦ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ |
|    | B鑑賞<br>箏曲<br>《みだれ（乱輪舌）》       |   |    |  |  |                                 |                  |             |
| 12 | B鑑賞                           | 「能や謡に親しもう」<br>能《道成寺》<br>「舞台芸術」  | 4  | a.㊦鑑賞したり謡ったりしながら、我が国や郷土の伝統音楽の種<br>類とそれぞれの特徴の関わりや、謡の言葉の特性と曲種に応<br>じた発声との関わりを理解する。<br>a.㊦能の「謡」にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方な<br>どに留意して表現に必要な技能を身に付けて謡ったりする。<br>b.㊦音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美<br>しさを味わって聴く。<br>b.㊦自分のイメージをもって、音楽を形づくっている要素の働か<br>せ方などを試行錯誤しながら歌唱表現を工夫する。<br>c.謡の曲想と音楽の構造や詞章、文化的・歴史的背景との関わり<br>や、曲種に応じた発声との関わりに関心をもち、主体的・<br>協働的に取り組む。     | 行動観察・発言<br>ワークシート<br>追求途中の表現<br>歌唱表現の聴取<br>批評文 | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>㊦<br>㊦ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ |
|    | A表現<br>(1)歌唱                  | 《高砂》《羽衣》  |    |  |  |                                 |                  |             |
| 1  | B鑑賞                           | 「世界の諸民族の音楽を知<br>ろう」<br>「世界の諸民族の音楽」  | 4  | a.㊦歌ったり鑑賞したりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞、文<br>化的・歴史的背景との関わりや音楽の特徴と文化的・歴史的<br>背景との関わりについて理解する。<br>㊧曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意<br>して歌い、表現に必要な技能を身に付ける。<br>b.㊦意見交流を通して、自分や社会にとっての音楽の意味や価<br>値について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。<br>b.㊦自分のイメージをもって、音楽を形づくっている要素の働<br>かせ方などを試行錯誤しながら歌唱表現を工夫する。<br>c.世界各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び<br>音楽表現の共通性や固有性に関心をもち、主体的・協働的に取<br>り組む。 | 行動観察・発言<br>ワークシート<br>追求途中の表現<br>歌唱表現の聴取<br>批評文 | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>㊦<br>㊦ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ |
|    | A表現<br>(1)歌唱                  | 京畿道アリラン<br>美しいエンメンタール   |    |  |  |                                 |                  |             |
| 2  | A表現<br>(1)歌唱                  | 「ミュージカル・ナンバー<br>を歌おう」<br>Memory/美女と野獣   | 5  | a.㊦物語のあらすじ、登場人物の心情、曲想や表現上の効果と音<br>楽の構造との関わりや、様々な表現形態による歌唱表現の特<br>徴について理解する。<br>㊧曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意<br>して歌い、表現に必要な技能を身に付ける。<br>b.㊦意見交流を通して、曲や演奏に対する評価とその根拠につ<br>いて考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。<br>b.㊦自分のイメージをもって、音楽を形づくっている要素の働<br>かせ方などを試行錯誤しながら歌唱表現を工夫する。<br>c.曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりや、様々な表現形<br>態による歌唱表現の特徴について関心をもち、主体的・協働的<br>に取り組む。        | 行動観察・発言<br>ワークシート<br>追求途中の表現<br>歌唱表現の聴取<br>批評文 | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>㊦<br>㊦ | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ |
|    | B鑑賞<br>ミュージカル《キャッツ》<br>「舞台芸術」 |   |    |  |  |                                 |                  |             |
| 3  | A表現<br>(2)器楽                  | 「さまざまな器楽アンサン<br>ブルを楽しもう」<br>ミッション：インポシブル<br>のテーマ<br>タイムマシンにおねがい               | 5  | a.㊦演奏したり聴き合ったりしながら様々な表現形態による器楽<br>表現の特徴を理解する。<br>㊧他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けたりする。<br>b.共通するイメージをもち、音楽を形づくっている要素の働かせ<br>方などを試行錯誤しながら表現を工夫する。<br>c.曲想と楽器の音色や奏法との関わり、及び他者との調和や表現<br>形態の特徴を生かして演奏することに関心をもち、主体的・協<br>働的に取り組む。  | 行動観察・発言<br>ワークシート<br>追求途中の表現<br>器楽表現の聴取        | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>㊦      | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ |
|    | B鑑賞                           | 「作曲家の生涯と作品をた<br>どろう」<br>「クローズ・アップ・マエ<br>ストロ」<br>J.S.バッハ/W.A.モーツァルト            | 4  | a.㊦音楽の特徴と文化的・歴史的背景他の芸術との関わりにつ<br>いて理解する。<br>b.意見交流を通して、自分や社会にとっての音楽の意味や価値<br>について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。<br>c.曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特<br>徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心をもち、主体的・協<br>働的に取り組む。   | 行動観察・発言<br>ワークシート<br>批評文<br>プレゼンシート            | ㊦<br>㊦<br>○<br>○<br>○<br>㊦      | ○<br>○<br>○      | ○<br>○      |
|    |                               |   | 70 |  |  |                                 |                  |             |